

# 教育しが

平成21年(2009年)11月号

No.18 滋賀県教育委員会

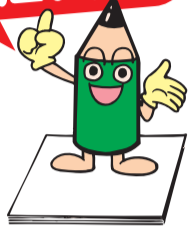


### 各課連絡先 (代表番号)

教育委員会事務局  
〒520-8577 大津市京町四丁目1-1

教育総務課 ☎077-528-4511  
教職員課 ☎077-528-4531  
福祉課 ☎077-528-4551  
学校教育課 ☎077-528-4571  
人権教育課 ☎077-528-4591  
生涯学習課 ☎077-528-4651  
スポーツ健康課 ☎077-528-4611  
文化財保護課 ☎077-528-4671

平成21年度



## 全国学力・学習状況調査

### 結果の概要をお知らせします



### 調査の概要



- ★調査目的  
各教育委員会、学校が児童生徒の学習状況を把握・分析し、教育および教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- ★調査の対象学年  
県内小学校第6学年、中学校第3学年
- ★実施の内容
  - ①教科に関する調査(国語、算数・数学)
    - 主として「知識」に関する調査(A問題)
    - 主として「活用」に関する調査(B問題)
  - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
    - 児童生徒に対する調査
    - 学校に対する調査
- ★調査実施日  
平成21年4月21日(火)

### 調査結果



★「教科に関する調査」の実施結果の概要  
滋賀県(公立)の平均正答率は、下表のとおりです。

【平均正答率】

教科等	国語		算数・数学	
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」
小学校	滋賀県 68.3%	48.0%	76.8%	53.4%
全国	69.9%	50.5%	78.7%	54.8%
中学校	滋賀県 76.8%	74.0%	63.6%	57.2%
全国	77.0%	74.5%	62.7%	56.9%

### ★具体的な課題等

小学校	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●段落の内容を的確にとらえることや、文章の内容に合わせて小見出しを書くことなどはできません。</li> <li>◆目的に応じて必要な事柄を整理し、事象や意見などを関連付けて書くことや、自分の立場や意図を明確にして話し合うことなどに課題があります。</li> </ul> <p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●整数、小数、分数の四則計算や、平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質を理解することなどはできません。</li> <li>◆百分率を求めることや、基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述することなどに課題があります。</li> </ul>
中学校	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本文の展開に即して内容をとらえることや、話の内容から必要な情報を的確に聞き取ることなどはできません。</li> <li>◆文章と資料との関わりを理解したり、自分の表現に役立てたりすることや簡潔にまとめて記述して答えることなどに課題があります。</li> </ul> <p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●単項式どうしの乗法の計算や、展開図で示された空間図形について、2つの面の位置関係(面と面の平行)をとらえることなどはできません。</li> <li>◆証明の意義を理解することや、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することなどに課題があります。</li> </ul>

### 課題があるとみられる問題例

正答率：正しく答えた児童生徒の割合 無解答率：答えを書かなかった児童生徒の割合

#### ●小学校 国語Bの問題から 表をもとに話し合う(家の中の掃除や整理)

正答率：24.6%  
無解答率：14.6%

話の流れを踏まえ、自分の立場や意図を明確にして話し合うことに課題があります。

【資料】家の中のそうじや整理をする小学校6年生の割合

	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

【条件】平成十七年の割合(%)を取り上げること  
六十字以上八十字以内(まとも)に発表すること

司会：二人は、平成十六年の割合から考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

村田：わたしは、「平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなります。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

川口：平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整理はむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山：確かに、「平成十六年の「いつもしている」は十五%しかありません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七%もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

【話し合いの様子(一部)】  
川口さんの言葉では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あの問いに答えましょう。

【話し合いの様子(一部)】  
司会：ここからは、川口さんが集めた「資料」をもとにして、「家の中のそうじや整理」について話し合います。「資料」を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口：平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整理はむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山：確かに、「平成十六年の「いつもしている」は十五%しかありません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七%もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

【正答例】  
A 最近の小学校6年生は、家の中のそうじや整理によく取り組んでいるという意見

この課題を解決するためには、話し手の立場や意図をとらえて聞き、比較したり、関連のある資料をまとめ、分類したりして、自分の考えを明確にすることが必要です。

#### ●小学校 算数Bの問題から 資料の数学的な解釈と判断の根拠の説明(リサイクル)

割合の大小を判断し、その理由を数学的に表現することに課題があります。

あかねさんの学校では、リサイクル活動を行っています。あかねさんたちは、4月、5月、6月のリサイクル活動で集めたものの重さを、下のようグラフにまとめました。

リサイクル活動で集めたものの月ごとの重さ

【条件】4月の全体の重さをもとにしたペットボトルの重さの割合と、6月の全体の重さをもとにしたペットボトルの重さの割合を比べると、どのようなことが言えますか。下の1から3までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 ペットボトルの重さの割合は、4月のほうが大きい。
- 2 ペットボトルの重さの割合は、4月と6月で同じ。
- 3 ペットボトルの重さの割合は、6月のほうが大きい。

【正答率】正答率：14.9% 無解答率：9.7%

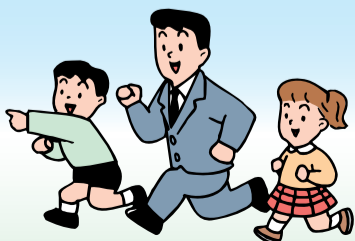
この問題を解決するためには、基準量と比較量の両方に着目して、割合の大小を判断し、その理由を言葉や式を使って表現することが必要です。

4月のペットボトルの重さの割合は、 $20 \div 80 = 0.25$ と、実際に求めて考えることもできます。

また、この問題のように、基準量が異なる場合、比較量が同じでも、割合は同じではないことに気付くことも大切です。

【正答例】【番号】1  
【わけ】(例) ペットボトルの重さの割合は、(ペットボトルの重さ) ÷ (全体の重さ) で求められる。ペットボトルの重さは、4月と6月で同じだけれど、全体の重さは、4月のほうが6月より小さい。だから、ペットボトルの重さの割合は、4月のほうが大きい。

詳しくは「確かな学び豊かな学び滋賀の学び」 [HPhttp://www.shiga-ec.ed.jp/manabi-shiga/index.html](http://www.shiga-ec.ed.jp/manabi-shiga/index.html) をご覧ください。



## 10月～11月は滋賀教育月間です

地域、学校などで、教育に関わる様々な事業が実施されています。

(11月1日は「滋賀教育の日」です)

